## 呉港高等学校 教育後援会だより

教育後援会広報部 平成 26 年 3 月 1 日 第 71 号

教育後援会 会長 田村 俊朗

息子が卒業し、無事に社会人となりました。

この一年、教育後援会会長を無事務め上げる事ができたのも、皆様のおかげです。様々なご協力を頂き本当にありがとう ございました。

東日本大震災、原発事故、欧州の金融危機・・・次々と国家的危機が起こり、先行きは不透明さを増して来ています。 そんな中、今年は女子生徒を迎え、新たな呉港としてスタートを切りました。体育館も新しくなります。 新しくなるものが多くなると、古いものは忘れがちになります。

中でも人との付き合い方を私達は忘れてしまったのではないでしょうか。

虐待や家庭内暴力が問題になる中には、適切な距離を測れないというのもあるのではないかと思うのです。

家庭は同じ家に住んでいるお互いが別の人間です。言葉で伝えないと伝わりませんし、感情の全てを汲み取ることも 汲み取って貰うことも不可能です。

言葉を惜しんではいけません。

#### 「ありがとう」

### 「ごめんなさい」

「愛してる」

伝えないと伝わりませんし、伝えられることはとても幸福なことです。

とても照れ臭いし、とても気まずい時もあるでしょうが、お互いの心を伝え、知る言葉です。

それは親も子も両者に言えることです。

そして、その距離感はもちろん、後援会活動や地域活動にも無関係ではありません。

現在では、人付き合いが面倒だと思われる方も多く、懇談会や会議の出席率も低いように思われます。参観日や懇談会、 学校の行事といった機会をぜひ活用し、縦の繋がり、横の繋がりの強い後援会をこれからも作って行って頂きたいと 思っております。

ぜひ、もっと発言をして欲しいということを最後にお願いいたしまして、結びとさせていただきます。

# 卒業おめでとうございます

## 3学年主任 大中 正樹

卒業生の皆さん、ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。この日を迎える事ができたことは私たちにとっても最大の 喜びであり、大きな責任を一つ果たすことができたという思いで一杯です。

思い起こせば3年前、初々しい皆さんを迎えた入学式。呉港生としての第一歩となったオリエンテーション合宿研修では、厳しさから培った忍耐力。進路について考え、全ての食事を自炊し生き抜く力を培った進路セミナー。沖縄・石垣島での修学旅行では自然の中での様々な体験をし感動を得ました。クラブ活動や資格取得・検定に追われた日々、猛暑の中やり遂げた夏期鍛錬や体育祭。今では呉港体育祭の名物となりつつあるピラミッドも、みんなで作り上げたという達成感がありました。

私たちは、建学の精神である『社会に役立つ人材の育成』を目指し、教育活動の中で皆さんの自分探しの取り組みを見守ってきました。 勉強で頑張った人、クラブ活動に青春を謳歌した人、検定や資格取得に没頭した人、そこには語り尽くせない皆さんの努力があったものと 思います。成功したことも失敗したこともあると思いますが、頑張ってきた努力を誇りに感じてほしいと思っています。この3年間で習得 した呉港魂で、何事にもチャレンジする気持ちを大切にしてください。

最後になりますが、保護者の皆さまにおかれましては本校の教育活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございました。 厚く御礼申し上げます。卒業生ならびに保護者の皆さまの今後のご健勝とご活躍をお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

3年1組 担任 田中先生 副担任 岡井先生





3年2組 担任 藤川先生 副担任 山口先生





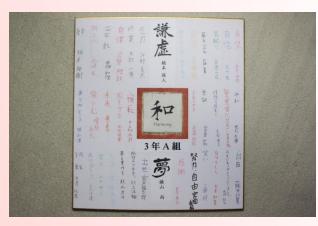
3年3組 担任 山本先生 副担任 山口先生





3年A組 担任 橋本先生 副担任 横山先生





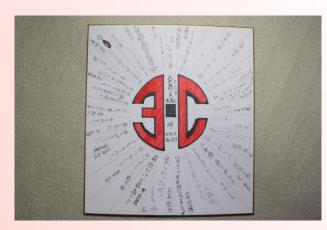
3年B組 担任 東田先生 副担任 永田先生





3年 C組 担任 石井先生 副担任 朝山先生





3年 E 組 担任 藤原先生 副担任 村川先生



